

◆ 身のまわりから世界を変える

皆さんは「SDGs」（エス・ディー・ジーズ）という言葉聞いたことがあるでしょうか。ニュースなどで耳にしたことがあるという人もいるかもしれません。

SDGsとは、「Sustainable Development Goals」の略称です。「持続可能な開発目標」という意味の言葉で、2015年の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年までの15年間でよりよい世界を目指すための国際目標です。

SDGsには「1. 貧困をなくそう」「2. 飢餓をゼロに」「3. すべての人に健康と福祉を」「4. 質の高い教育をみんなに」「5. ジェンダー平等を実現しよう」「6. 安全な水とトイレを世界中に」「7. エネルギーをみんなにそしてクリーンに」「8. 働きがいも経済成長も」「9. 産業と技術革新の基盤をつくろう」「10. 人や国の不平等をなくそう」「11. 住み続けられるまちづくりを」「12. つくる責任 つかう責任」「13. 気候変動に具体的な対策を」「14. 海の豊かさを守ろう」「15. 陸の豊かさを守ろう」「16. 平和と公正をすべての人に」「17. パートナースHIPで目標を達成しよう」からなる17の目標があり、“誰一人取り残さない”ことを目指しています。これは人権の問題についても例外ではありません。

例えば、5番目の「ジェンダー平等を実現しよう」や10番目の「人や国の不平等をなくそう」といった目標の達成には国や行政の支援だけでなく、社会全体で意識を変えていく必要があります。この2つに限らず、他の目標の達成についても人権への配慮が必要な課題が多くあります。

2020年は新型コロナウイルス感染症の世界的流行によって、3つの「密」を避けるなど、人とつながることが難しい状況が続きました。新しい一年を迎えるにあたって、17個のうち1つでも自分の身のまわりから変えていけるものを探してみるのも良いかもしれません。